

(表1:事業が属する業種ごとの最近1年間の売上高等)

業種(※2)	最近1年間の売上高等	構成比
(※1) 業	円	%
業	円	%
業	円	%
業	円	%
全体の売上高等	円	%

※1:兼業者であって、指定業種の中で最近1年間の売上高が最大の業種名を記載。

※2:業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

(表2:指定業種の最近1か月間^{※3}の売上高等と令和元年12月の比較)

指定業種の最近1か月間の売上高等			指定業種の令和元年12月の売上高等		
年	月	売上高等(実績)	年	月	売上高等(実績)
		A 円	2019	12	B 円

(表3:企業全体の最近1か月間^{※3}の売上高等と令和元年12月の比較)

企業全体の最近1か月間の売上高等			企業全体の令和元年12月の売上高等		
年	月	売上高等(実績)	年	月	売上高等(実績)
		E 円	2019	12	C 円

※3「最近1か月間」とは申請月の前月または前々月を指す。また、新型コロナウイルスの影響により、最近1か月間の売上高等での比較が適当でない特段の事情がある場合、その理由を余白に明記したうえで、最近1か月(申請月の前月または前々月)を含む連続した過去2~6か月以内の平均売上高等としても可。その場合、何月から何月を使用したかの期間も明記すること。

(例:令和3年8月中に申請の場合、最近1か月間の売上高等を令和3年2月~7月の平均売上高として可)

(表4:上記A・Eの期間後2か月間の売上高等の実績見込み)

指定業種(上記A)の向こう2か月間の見込み売上高等			企業全体(上記E)の向こう2か月間の見込み売上高等		
年	月	売上高等(見込)	年	月	売上高等(見込)
		円			円
		円			円
合計		D 円	合計		F 円

(表5:上記Cに対する、指定業種に属する事業の最近1か月間の売上高等の減少額等の割合)

最近1か月間	$(B - A) \div C \times 100 =$	%	} 小数点第2位以下切り捨て
最近3か月間	$\{(B \times 3) - (A + D)\} \div (C \times 3) \times 100 =$	%	

(表6:企業全体の売上高等の減少率)

最近1か月間	$(C - E) \div C \times 100 =$	%	} 小数点第2位以下切り捨て
最近3か月間	$\{(C \times 3) - (E + F)\} \div (C \times 3) \times 100 =$	%	

★上記の売上高等が判る資料(例えば、試算表や法人事業概況説明書など)の提出が必要です。

(事業者名)
